原価計算プログラム

（低コスト林業生産システム原価計算プログラム）

Version 2.0.2

取 扱 説 明 書

静岡県林業技術センター

1　動作環境

このプログラムは、表計算ソフト・Microsoft Excel 上で動作するマクロプログラムです。Microsoft Excel がインストールされているパソコンで使うことができます。以下のバージョンについて動作確認を行っています。

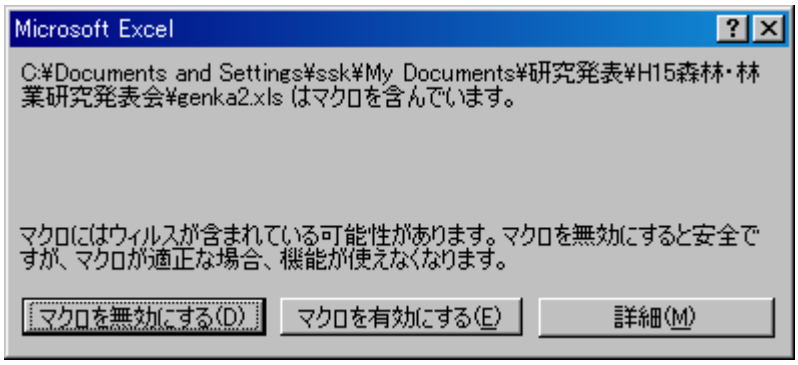
・Excel Version 2002 (Microsoft Office XP シリーズに含まれる Excel)
・Excel 2000 (Microsoft Office 2000 シリーズに含まれる Excel)

画面解像度は 800×600 ドット以上をお勧めします。また、プリンタがあれば、原価計算表や表示画面を印刷することができます。

2　ダウンロード

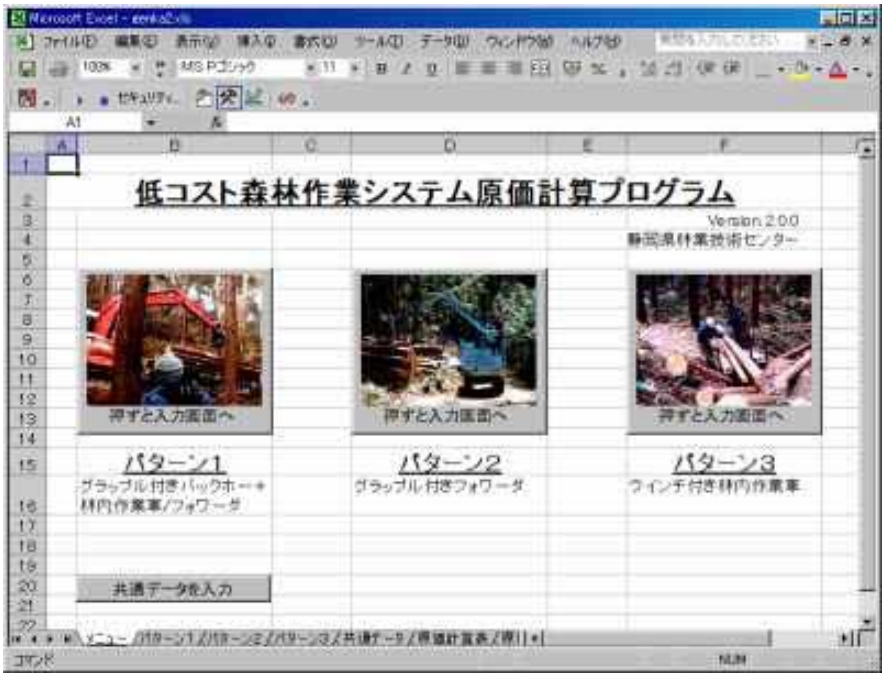
ダウンロードされたファイルは、Excel ブック形式のファイルです。これをダブルクリックすると、Excel が起動します。右のようなメッセージが表示されたら、「マクロを有効にする」ボタンを押してください。原価計算プログラムのメニュー画面が表示されます。

ボタンが押せないなどプログラムが全く動作しない場合や、これとは別のメッセージが表示されて起動できない場合は、「取扱説明書　よくある質問」をご覧ください。



3　メニュー画面

ダウンロードした「genka2.xls」ファイルを開くと、右のようなメニュー画面が表示されます。3 つの大きなボタンの中から作業システムを選択して押すと、計算画面に進みます。次の 3 パターンについて生産コストを試算することができます。



パターン１：グラップル付きバックホー＋林内作業車／フォワーダ

木寄せおよび積み込みの作業にはグラップル付きバックホーを使い、集材にはフォワーダや林内作業車を使うシステムです。

パターン２：グラップル付きフォワーダ

木寄せ、積み込み、集材の全てにグラップル付きフォワーダを使うシステムです。

パターン３：ウインチ付き林内作業車

従来から使われているウインチ付き林内作業車を使うシステムです。

また、「共通データを入力」ボタンを押すと、各パターンで共通の作業条件について入力する共通データ画面に進みます。

４　計算画面

計算画面については、各パターンでほぼ共通です。

右上に４つのボタンがあります。

メニューに戻る	メニュー画面に戻ります。
初期値に戻す	セルに入力されている値を、初期値に戻します。それまでに変更されている数値は破棄されるのでご注意ください。
原価計算表の作成	入力された値を元に原価計算表を作成します。
共通データを入力	共通データ画面に進みます。

最初に、計算方法を２種類から選択します。

積み込み量を○○立米に固定	車両への１回当たりの積み込み材積を、各システムで標準的な値に固定します。より高い精度での試算が可能です。
積み込み量を変更できる	車両への１回当たりの積み込み材積を変更できます。より幅広い条件を検討することができます。

次に、黄色のセルに各種作業条件を入力すると、ピンク色のセルの数値が変化し、単位材積当たりの生産コストを試算することができます。各項目名の書かれたセルにマウスカーソルを移動させると、各項目の説明が表示されます。数値の表示されているセルの色は3色に色分けされていますが、意味はそれぞれ次の通りです。

黄色のセル	条件に合わせて、数値を入力するセルです。
ピンク色のセル	入力された数値を元に計算された結果を表示しているセルです。
水色のセル	他のセル（共通データ画面など）に入力された数値を転記しているセルです。

5　共通データ

メニュー画面や計算画面にある「共通データを入力」ボタンを押すと表示される画面です。燃料の単価、機械の運搬費、賃金や保険料が表示されます。変更したいときは、黄色いセルに数値を入力します。

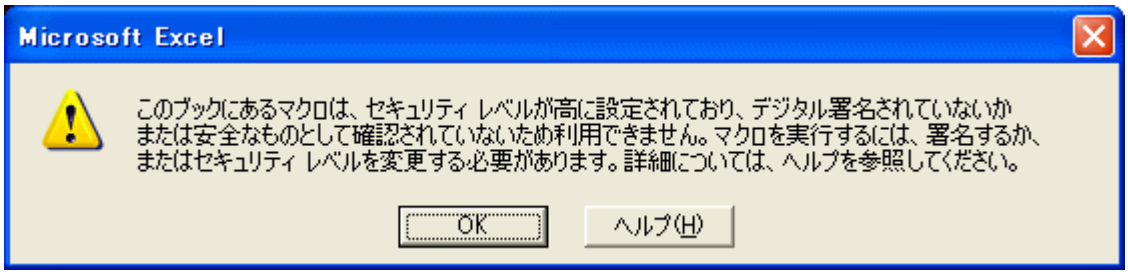
6　原価計算表の作成

計算画面の「原価計算表の作成」ボタンを押すと、入力された数値に基づいて原価計算表が作成されたシートが表示されます。このシートを印刷すれば、右のような原価計算表を打ち出すことができます。A4横の用紙に出力可能です。

7　よくあるご質問

◆原価計算プログラムを実行できない・ボタンを押しても反応しない

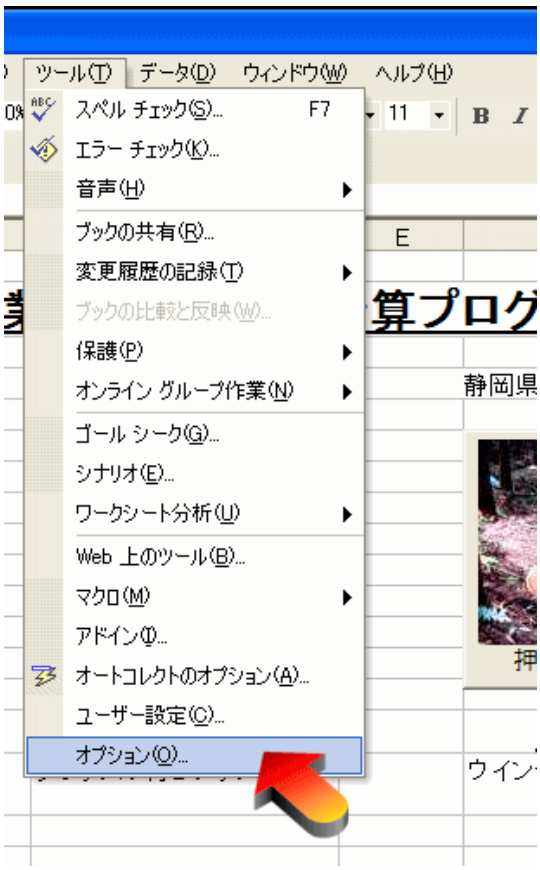
コンピュータウイルスなどからの被害を防ぐために、Office XP ではマクロの実行に対するチェックが強化されていて、インストール直後の状態では、「信頼できるデジタル署名のあるマクロ」以外は実行が禁止されています。また、Office 2000 の場合でもマクロ実行のセキュリティレベルを「高」に設定していると同様にマクロの実行が禁止され、本プログラムを実行することが出来ません。この場合、画面上のボタンを押しても全く反応しなくなります。下のようなメッセージが表示されることもあります。



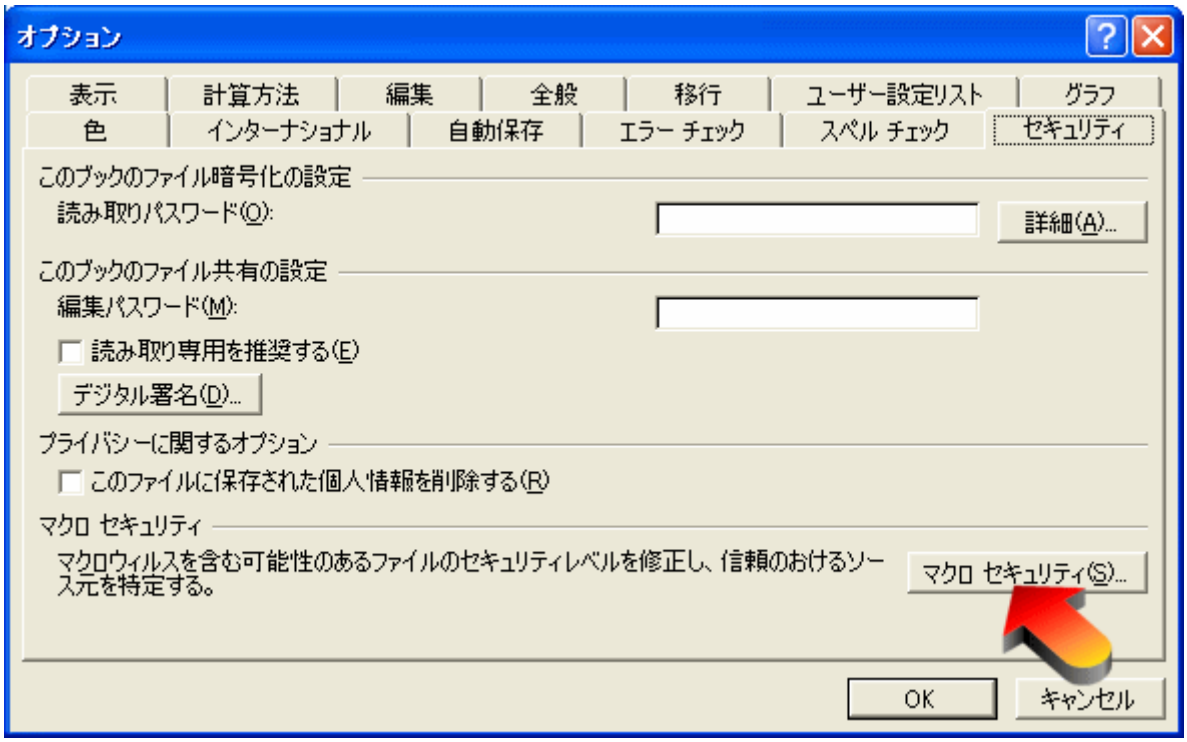
本プログラムを実行するためには、マクロ実行のセキュリティレベルを「中」以下にする必要があります。以下に操作方法を示します。

1.Office XP に含まれる Excel（Excel Version 2002）の場合

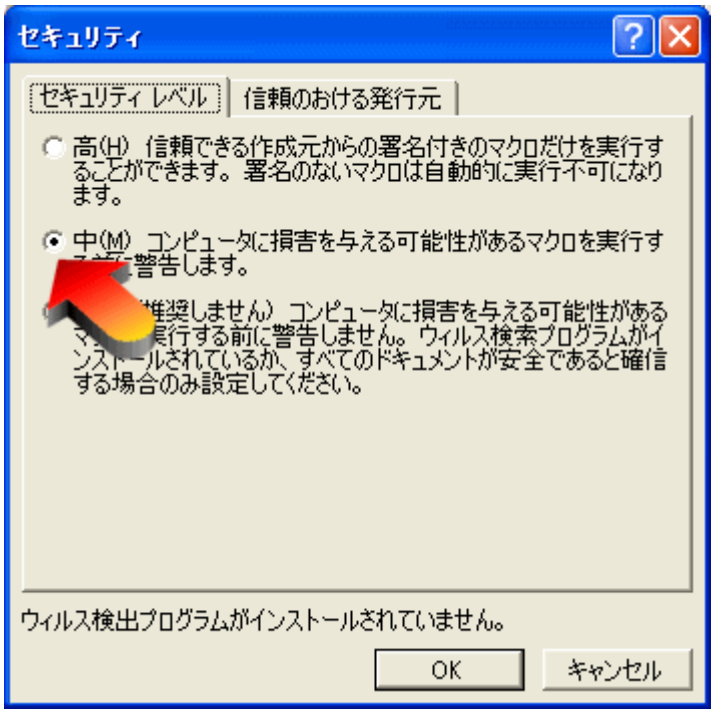
Excel のメニューから「ツール(T)」→「オプション(0)...」を選択します



「オプション」画面から「セキュリティ」タブを選択し、右下にある「マクロ セキュリティ(S)...」ボタンを押します。

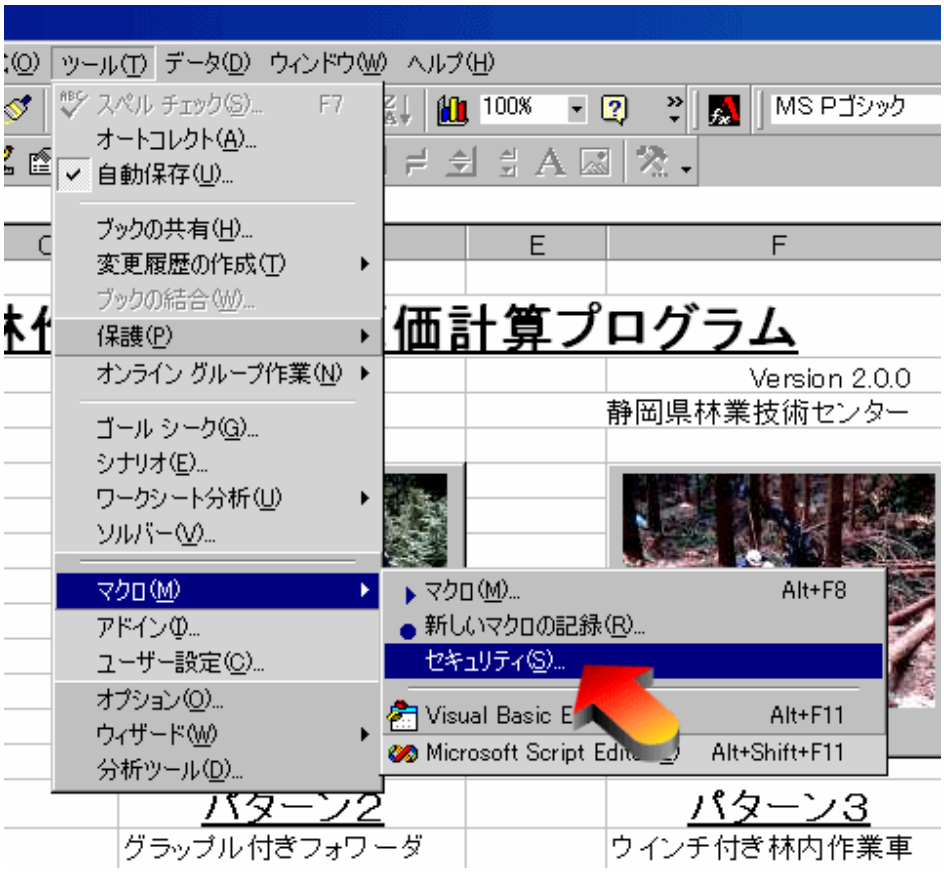


「セキュリティ」画面から「セキュリティ レベル」タグを選択し、セキュリティレベルを「中」以下に選択します。

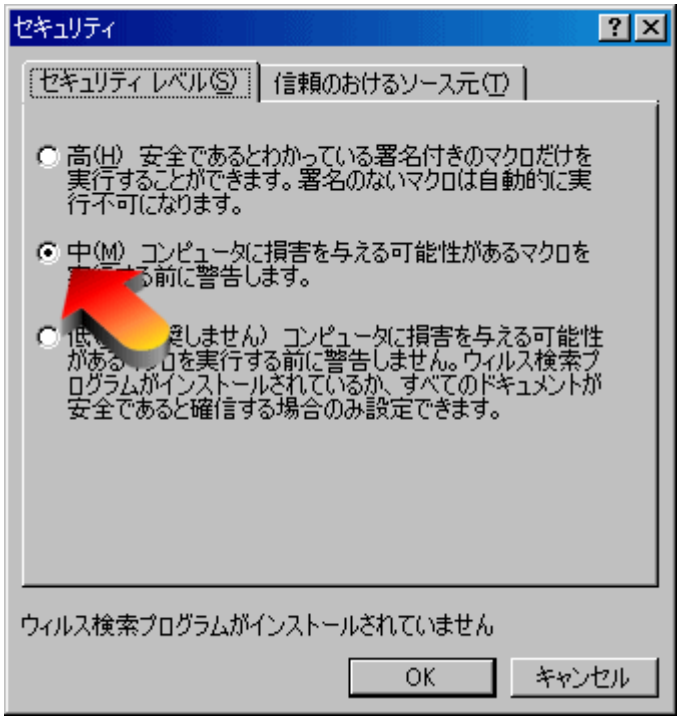


2.Office 2000 に含まれる Excel（Excel 2000）の場合

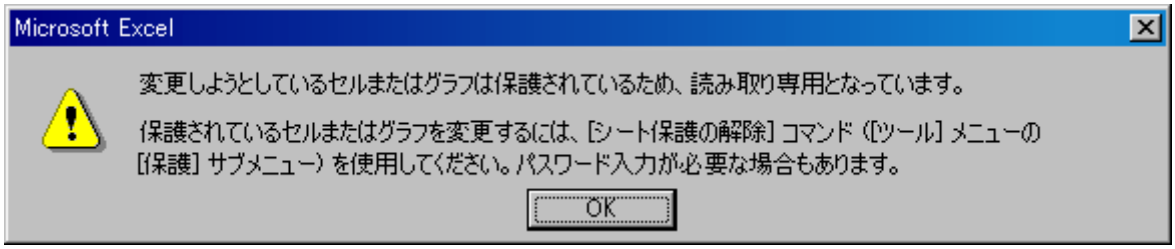
Excel のメニューから「ツール(T)」→「マクロ(M)」→「セキュリティ(S)...」を選択します。



「セキュリティ」画面から「セキュリティ レベル」タグを選択し、セキュリティレベルを「中」以下に選択します。



◆次のようなメッセージが表示される



本プログラムでは、計算式などを誤って消去するのを防ぐため、入力可能な場所以外でワークシートの書き込み保護を行っています。保護されているセルをダブルクリックしたときなどにこのメッセージが表示されます。動作には特に問題がありませんので、「OK」ボタンを押して操作を続行してください。

◆条件を変更した結果を保存したい

ワークシートを「上書き保存」すると、現在入力されている条件が保存されます。初期値に戻すためには「初期値に戻す」ボタンを使ってください。

「名前を付けて保存」を行い、全体を別のファイル名で保存すれば、複数の条件を保存することができます。